

# Girl Scout Troop 4

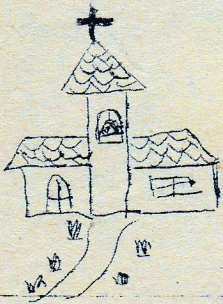
## DREAM

2月 No. 6

### 新年にあたって

四回の伝統をどこまでも守り  
しかみ、それと背してはいけません。思い  
ます。伝統というものは、またいつと  
古く、始めて始末はあえなく、  
ものであります。  
そして、そこそこならぬか、なかに  
だせ、なかにあるものなのです。  
スカウトの清らかな眼で、どれか  
本當の伝統の海である。見ま  
めて下さい。  
そして先輩達から十年の歳月を  
かけて、積り重ねていった伝統を  
更にみかきあげ、はなやかにほ  
やかに、誰かからも見える消え  
ていき、ない明るみに輝かせて  
下さい。

志水 興六



### 福祉施設にゆく人々

山形市青年会 由

服装より一月二十五日、私達四回  
八回リレーを命ぜり、花名  
が、リスカウトは、花名  
於いて、ひらかれ、福祉施設  
にゆく人々を、お祝い、  
奉仕し、目録、録、  
力持、と、  
保育園、孤児院にゆく  
にゆく、  
一日、日頃の苦勞も、志水  
ゆつくりと、  
ために、全国各地、  
人々が、  
この会は、毎年、  
今年で、  
ました、  
はこの会に、  
ります、  
次の奉仕には、  
参加しよう、  
さんか、



クリスマスへの反省  
昨年十二月二十三日(火)

G.S. 年長 シニア・シニア  
上級 クリスマス祝会

クリスマスが自分達より果  
然と終る感じがした事。

人を引さつてける事が何処  
にもなかった。

フオークダンスの時は、キ  
ャミをワケワケする間、少し  
ごわごわしていった。

も、と計画をまわると直  
ぐと直した。

グループに分ける時もう  
少し考えをほめた。

女性にはあてに写らな  
い。

招待する事や少しうまく  
いかなかった所があるから  
気をつけておこなう事

一、フオークダンスの時「皆んや  
一緒にしてほしかつた。(たとえ  
ばストーブの囲りに立ってたり  
かばい横に立ってたりして「車」

一、全員、時間厳守。

一、このクリスマスが反省会  
の時に皆んや他人やこの様に云  
った様だけ自分達が動かす会  
にという事を忘れた様に。

昨年十二月二十七日(土)

G.S. B.S. 年少クリスマス  
祝会

一、最後、ローソク礼拝がよか  
つた。

一、お菓子を探したりした時、あ  
まりとうまくいかずかつたが、良  
く考えた。

一、組を出し物がよかつたが良  
く進行した。

一、自己紹介はあつた。と考  
え、あつた。出し物も軽くて、あ  
や

一、サントウウィツも軽くて、あ  
や

つ等もておろした。

一、ゲームが面白かつた。

以上がクリスマス祝会への反省です  
このことよく胸の底にいためて  
今年がクリスマス祝会がより良  
く有意義に過ごすことが出来るよう  
頑張ります。

(寛)

五、田と共

去る一月三十一日、学習院  
に我々の四回に御招待して、楽  
しいミーティングを行いました。

一、つものように南会より始まり  
全員でスカウトリングの練習の後  
ミックステラ組がえがかりました  
そこで五回の方々一人々と交わり

私達は姉妹とある事より一そう  
身に味いませした。

二、銀の会達の指導によるフオー  
クス、ゲームをして初級の人ほ  
塚田さんによる「保健、法則」ま  
くわしく又誰れにでもわかる様  
に、お話しを御講義がありました。

三、開会から南会に至るまで一  
つとより本堂に有意義なミー  
ティングが行なわれました。







白井喜久子宛に

あけが

三月十一日 北風稀々と  
八ヶ岳スキー場には雪がかけに  
なつたが 蒸気マシンのほくとして  
から約三月の全負傷者も今  
お家まで静養中でありついでに  
手紙 どうか皆様 おい手か  
よりましとら 手紙をまじめ  
りて下さい。

手紙を

書く時 水と

二週間 一ヶ月の間に  
おきやすと 長いおきかき  
運ばれたいです

気がつけました

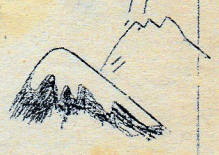
一回同級生

忘れたいしな



雪山讃歌

歌いましょう



- 一 雪の上岩を われらに宿り  
俺たち町には住めないからに
- 二 シールはかしてパイプの煙  
輝く屋根に春風をよぐ
- 三 煙い小屋も 黄金の御殿  
早く行くさま 谷間の小屋へ
- 四 テントの中でも月見はでき  
雨は降ったらぬればいハナ
- 五 呪魔の母には 本手にフコイ  
ピツアルにふる手がこころえよ
- 六 荒れて狂うは吹雪か 雪山朋  
俺達とんぼの 聴えほせぬぞ
- 七 雪の庵に くらうくらう  
明日はのぼる ああ頂へ
- 八 朝日に輝く新雪ふんで  
今日も行こうよ あり山こえ
- 九 山よさよならさきげんよろしやう  
又 来る時にも笑ってあくれ

奉仕の係より

寒さも一彼とまじしくなり  
狐見院や災宮地等に衣  
類を運び送り出しついでに  
おでこ毛糸の編物にふと  
りつしやうな一方は 去来を  
早くおしめて下さい。

併願で改します。

編集後記

この協力ありがとうございました。  
DREAMの感想文章  
を添えさせていただきます。  
又 次号が増々充実する様  
に協力下さい。

昭和34年一月五日印刷  
昭和34年二月七日発行  
編集者 東 才 園 団  
発行者 志水 勉

発行所 北区板橋南坂町  
東 才 園 団  
十四